

おだがいさま

ODAGAISAMA

124号
令和8年
6月1日発行



「おいしいね、たのしいね」笑顔あふれる子ども食堂



いのちとこころを考えるつどい(自殺予防のイベント)

来て楽しい、居て楽しい…

～こころも元気になれる場所～

特定非営利活動(NPO)法人 **ぼらんたす**

“ボランティアについて学ぶ場を地元につくりたい”という思いから、「ボランティア」をキーワードに、人づくり・まちづくり・地域づくりを進めることを目的に2008年に設立されました。ボランティアに関する研修や講師派遣、自殺予防活動としての相談会やサロンも開催するほか、活動拠点の「楽家」で、子ども食堂やフードパントリー（食材配布）を実施するなど、多様な活動を行っています。

こうした地域福祉の向上への長年の活動が認められ、2025年度「愛の鳩賞（主催：公益財団法人山新放送愛の事業団、山形新聞、山形放送）」を受賞されました。

<ぼらんたす事務局(楽家)>

鶴岡市陽光町10-36

TEL:0235-33-8730

ぼらんたすHP▶



事務局長の栗原穂子^{すいこ}さん、 スタッフの皆さんにお話を伺いました

—活動を続けていく中で大切にしている思いはありますか。

人は誰でも様々な理由で「生きづらさ」を感じ、心が苦しくなってしまうことがあります。そんな時、一人で悩みを抱え込まずに「助けて」と言えるような関係を築きたい、また、他人任せにせず、みんなが自分ごととして向き合える地域をつくっていきたい、そんな思いが活動を続ける原動力となっています。

—地域の皆さんへメッセージをお願いします。

参加者の方が「今日は行けなくても、自分が行ける場所があると思うだけでうれしい」と話してくれたことがあります。ここにあることで誰かが安心できる、そんな場所でありたいと思っています。少し疲れて誰かと話したい人も、何かを始めたい人も、どうぞ気軽に顔を出してみてください。



このページでは、鶴岡市で「誰もがその人らしく暮らす地域づくりや活動を行っている人」を紹介します。

発達障がい児・者 親の会
アインシュタインの会

中川 朱実さん

宮城県出身。結婚を機に鶴岡市へ移住。2児の母。子育てする中で感じた悩みをきっかけに「特定非営利活動(NPO)法人庄内アインシュタインの会」へ参加。解散を受け、2013年4月、有志で「アインシュタインの会」を設立し、同じ悩みを抱える保護者同士のつながりづくりや情報共有の場を広げている。



ひとりで悩まないで 共に考え、思いをつなげる場所を

発達に悩みを抱える保護者が、安心してつながり合える場づくりに取り組む「アインシュタインの会」。今回は、代表の中川朱実さんにお話を伺いました。

アインシュタインの会の活動について教えてください

現在は、発達障がいや特別支援教育について悩みや不安のある方が気軽に話せる、おしゃべりサロン「Casual Chat」と「りら・かふえ」の開催が主な活動です。5月〜12月の期間、2つのサロンを開催していますが、本人やその保護者だけでなく、支援で関わっている様々な立場の方が参加してくれます。

また、発達障がいの理解を深めたり社会資源について学んだりする勉強会も行っており、昨年度は鶴岡市障害者地域自立支援協議会が主催したセミナーに共催で関わらせていただきました。

活動をはじめたきっかけは?

息子の子育てをしている中で、言葉が出なかつたり、呼びかけても振り向かなかつたりといった育てにくさを感じていましたが、当時は発達障がいについての情報も少なく、世間の目も厳しかったのでとても孤独を感じました。そんな時に、前身の団体で同じ悩みを持つお母さんたちに出会ったことで「私一人だけじゃ

ない」と思い、世界が変わったような、本当に救われた気持ちになりました。

その経験を次の世代へとつなげていきたい、横のつながりを無くすのはもったいないと思い、有志で現在の「アインシュタインの会」を立ち上げました。

活動をしている中で思い出に残っていることはありますか

お孫さんと仲良くなりたいたいという思いから、発達障がいについて知りたいとサロンに来てくださったおじいちゃんがいきました。治るかどうかではなく長く付き合っていくものだということや、関わり方のヒントをお伝えする中で、専門的な立場ではなくても、実際の体験から生まれた言葉だからこそ届くものがあると感じました。そんなやりとりが誰かの力になり、また次の人へとつながっていく、あたたかさ喜びを感じた出来事でした。

今後の活動目標や思いを聞かせてください

派手な活動ではなく、細く長く続けていきたいと思っています。子ども

もたちが成長するにつれて悩みや進路、周りの環境も変わっていきます。その時々に必要な情報を学び合いながら、親の会として地域のニーズを拾い上げ、単なる困りごとで終わらせないように関係機関に伝える、つなげていくことも大切だと思っています。

サロンでは「あったかいね」と言ってもらえることが多く、その言葉が大きな励みになっています。しょっちゅう来てくれる人もいれば、何年ぶりかで近況を伝えに来てくれる方もいて、「おかえり」と迎えられ関係が続いていることが本当にうれしいです。これからも「いつもどこかにわかつてくれる人がいる」という安心感を地域につくり続けていきたいらと思えます。

発達障がい児・者 親の会
アインシュタインの会



ホームページ



令和8年度 事業計画と予算

鶴岡市社協3計画（地域福祉活動計画、発展・強化計画、事業経営計画）の初年度（令和8年度から令和12年度）として、それぞれに示された課題に計画的に取り組みます。令和8年度は、次の事業に重点的に取り組みます。

事業計画 主な取組

1 法人運営の充実・強化

- 地域の課題や福祉制度の変化に対応し、持続可能なサービスを提供できるよう、業務の見直しや経営分析を進め、事業の統合なども検討しながら法人運営の強化に取り組みます。
- 経営基盤の強化、労務管理体制、人材確保と人材育成策をさらに進め、社会福祉法人として強固な組織体制を目指します。



地域福祉委員会

2 地域福祉活動の推進

- 地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画2025」と、各地域を単位とした小地域福祉活動計画「地域支え合いプラン」に基づき、地域課題解決のための福祉活動を推進します。
- 各福祉センターの地区担当職員を地域福祉ワーカーとして配置し、民生委員・児童委員や相談支援機関、地域福祉推進組織と連携しながら、相談支援及び地域支援を実践します。



災害ボランティアセンター設置・運営訓練

3 生活支援事業の推進

- 加齢や障がい等により判断能力に不安がある方には、福祉サービス利用援助事業や法人後見事業を通じ、地域で安心して暮らせるよう権利擁護の視点を持って支援します。
- 鶴岡市成年後見センター（市委託）の運営では、受任者調整会議やチーム形成支援により、利用者本人への円滑な支援につなげます。また、成年後見制度の担い手の育成・確保にも取り組みます。



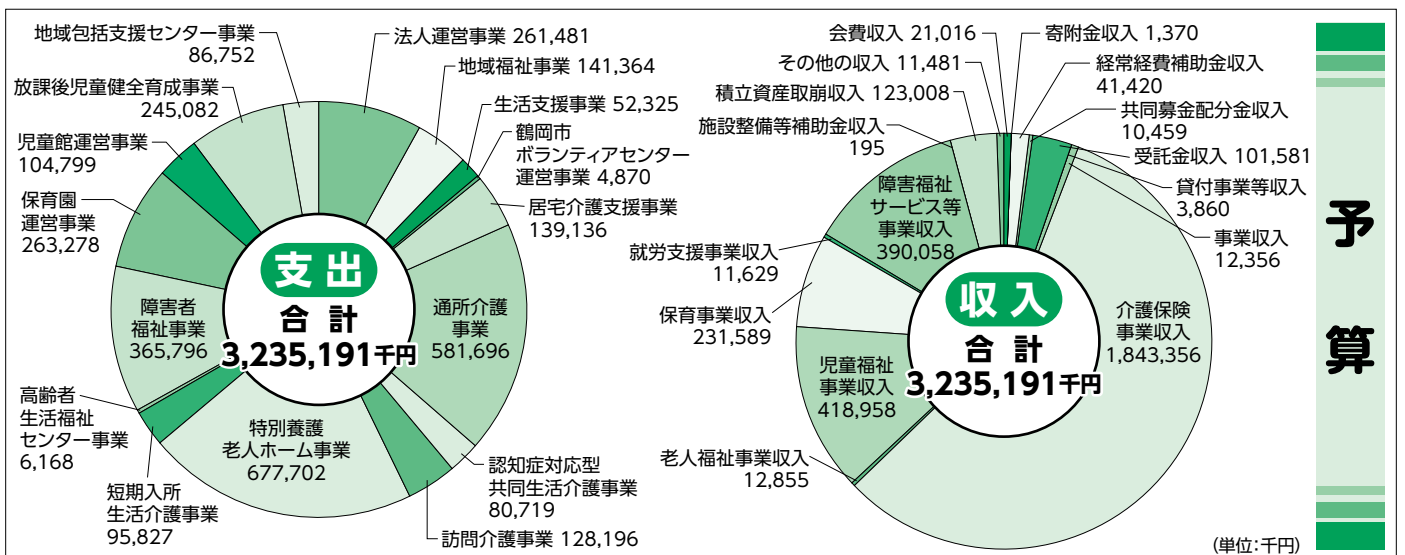
中央児童館 伝承遊び

4 高齢者福祉、障がい者福祉事業の推進

- 各事業のサービスを安心して利用していただけるよう課題整理やサービス内容の見直し、地域ニーズの把握を進め、安定した事業運営に取り組みます。
- 自然災害や感染症発生時においても、継続的にサービス提供できる体制構築のため、事業継続計画（BCP）の見直しと運用の強化に取り組みます。

5 児童福祉事業の充実

- 児童館では、地域の子どものための健全育成を支える拠点として、遊びや体験活動を通じて成長を応援します。祝日開館日を設けるなど、地域のニーズに合わせて利用しやすい運営を図ります。
- 学童保育所及び放課後児童クラブでは、登録児童数の増加に対応し、保育スペースの確保や安定した職員配置に努め、子どもたちが安心して放課後等を過ごせる環境づくりを進めます。



情報掲示板

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会 職員募集

令和9年度採用 正規職員採用試験 (令和9年4月1日採用)

■受験資格

昭和52年4月2日以降に生まれた方で、下記のいずれかの資格・免許をすでに取得、研修を修了している方、又は令和9年4月末までに取得、修了見込みの方
 ○社会福祉士 ○介護福祉士 ○介護支援専門員
 ○保育士 ○保健師 ○看護師 ○准看護師
 ○理学療法士 ○作業療法士 ○精神保健福祉士
 ○管理栄養士 ○栄養士 ○調理師

■採用予定数 若干名

■応募受付期間

令和8年6月8日(月)～7月8日(水)
 午前8時30分～午後5時15分(土、日除く)
 ※郵送の場合、7月8日(水)までの消印有効

■試験日 一次試験(作文) 7月26日(日)

二次試験(面接) 8月22日(土)

■試験会場

鶴岡市社会福祉協議会本部事務局(鶴岡市山王町13-36)

■応募方法

応募の詳細は募集要項(6月上旬にHPに公開予定)をご確認ください。事業所の事前見学も可能ですのでお問い合わせください。

※申込書はHPからダウンロードいただくか、又は本会事務局職員厚生課で交付します。詳しくはこちら▼

〒997-0028 鶴岡市山王町13-36
 鶴岡市社会福祉協議会 職員厚生課
 TEL 0235-26-7815 (担当: 齋藤)



赤い羽根募金 配分施設・団体のお知らせ

令和7年度に皆さまからご協力いただきました赤い羽根共同募金は、令和8年度の地域福祉推進のため施設や地域で行われる活動に役立てられます。

＜本市の福祉施設・団体への配分総額：5,015,000円＞

配 分 団 体	
地域福祉・在宅福祉事業	NPO法人 鶴岡災害ボランティアネットワーク
	NPO法人 明日のたね
	ハッピーさんの会
	湯野浜地区社会福祉協議会
障がい者就労支援事業	NPO法人やすらぎの会 就労継続支援B型事業所あけぼの
	民営学童保育所支援事業
第一学区学童保育所 空の子	
第四学区学童保育所 太陽の子3	
(学)いなば学園 藤島児童クラブ2	
こども食堂等運営支援事業	NPO法人ぼらんたす
	三瀬地区福祉のまちづくり協議会
	鶴岡市第六学区コミュニティネットワーク
福祉車両整備事業	NPO法人一歩 多機能型事業所いちほ
	NPO法人Comfy 多機能型事業所 絆
防災資機材整備事業	鶴岡市社会福祉協議会

令和8年度 市民後見人養成研修 受講者募集

地域に暮らす高齢者や障がい者を支える「市民による成年後見人」を養成する研修です。
 市民の立場での権利擁護支援に関心のある方の参加をお待ちしています。

■研修期間 令和8年9月16日～令和9年1月13日
 (講義8日間、実習2日間)

■受講料 無料(テキスト代 2,750円)
 ■申込・問合せ 山形県地域包括ケア総合推進センター

■研修場所 山形県小白川庁舎4階第1研修室等

TEL 023-676-6767



ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
 (令和8年3月1日から令和8年4月30日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴引福祉センターへ

・鶴岡市立鶴引中学校生徒会 様 ラダーゲッター
 ・鶴引中第9回卒業生喜寿を祝う会 様 1,628円

◎朝日福祉センターへ

・鶴岡市立朝日中学校生徒会 様 10,000円

★鶴岡地域生活自立支援センターくらしへ

・匿名様 10,000円
 ・勝木 克己様 10,000円

★デイサービスセンターとようらへ

・三瀬第二班ほっこり会 様
 ウェス 8kg、広告ごみ入れ 1.5kg

★鶴岡市高齢者福祉センターおおやまへ

・谷江 るみ 様 経管栄養剤 150袋、生理食塩液
 ・匿名様 介護用品 5点

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

・イオン東北(株)イオン三川店 店長 水谷武志 様
 ギフトカード 22,000円

★もみじが丘へ

・イオン東北(株)イオン三川店 店長 水谷武志 様
 ギフトカード 24,500円

★くしびき西部保育園へ

・西荒屋若松会 様 タオル 25枚

★フードバンクへ

・カーブス鶴岡ミナ店 様 食品 88.3kg
 ・カーブス鶴岡大塚店 様 食品・飲料品 計57.5kg

おだがいさま



第124号
 令和8年6月1日発行
 発行部数 47,000部

編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

本部事務局 鶴岡市山王町13番36号

TEL 0235-26-7815

FAX 0235-26-7837

ホームページ <https://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター

地域福祉課 TEL 26-9222

生活支援課 TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

鶴引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114



広報誌「おだがいさま」は、赤い羽根共同募金配分金と社協会費を財源とし、偶数月に全戸配布でお届けしています。